

2023年10月31日

# 環境人間学フォーラム説明会

学術情報委員会

# 環境人間学フォーラムの目的

- 発表学生にとって
  - 自身の研究や実践をさらに磨いていくきっかけとする。
  - 成果を多くの人に知ってもらう。
- 聴講学生にとって（特に1年生）
  - 環境人間学部でどのような研究、学び、実践が行われているかを知る。特に幅広さを知る。
  - プレゼンテーションというものがどのようなものか、その手本を実際にみる。
- 学部全体にとって
  - 本学部・研究科における研究、実践を促進する。
  - 研究発表、成果公開の場を広く提供する。

# 概要

- 12月7日（木）
  - 13:00～14:15 ポスター発表 体育館
  - 14:30～15:45 口頭発表 A401
  - 15:45～16:05 環境人間学部25周年式辞
- 部門
  - 院生研究（個人／団体）
  - 学部研究（個人／団体）
  - 実践活動（個人／団体） } 実験や調査を通して新しい知見を見出す  
...現実の課題解決に取り組む
- 発表形式
  - 口頭発表（6件程度）...選外はポスター発表へ
  - ポスター発表（件数制限なし）

# ポスターの作成

## • 内容

- **研究部門**：背景、目的、方法、結果、考察、結論、参考文献等、それぞれの分野の学術論文の構成に沿って記載する。
- **実践部門**：課題、取り組みの目的、内容、成果、社会へのインパクト等を記載する。

## • 形式

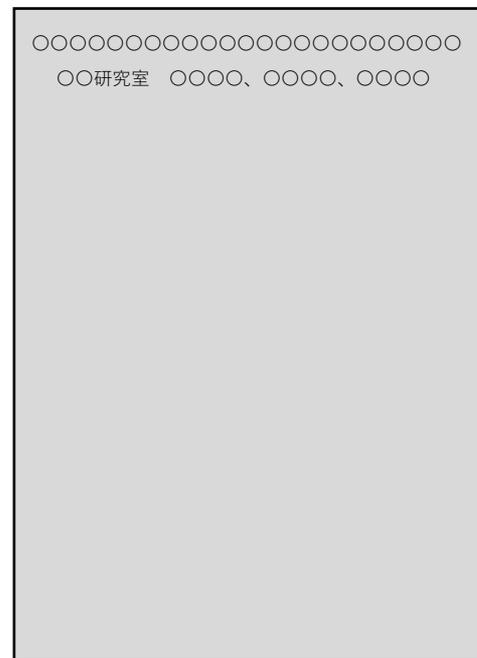
- 原稿はパワーポ**A0** サイズで作成することを推奨
  - デザイン>スライドのサイズ>ユーザー設定で**84.1cm×118.9cm**に
- **11月30日**までに提出すれば希望に応じて委員会で添削・返信する。

## • ファイルの印刷と提出

- **12月5日**までに最終版を印刷する（パワーポイントファイル）
- **12月5日**までに**PDF**ファイルを下記に提出
- 提出先：ドロップボックス（フォーラム特設サイトから入る）
- 連絡先：木本幸憲 [kimoto@shse.u-hyogo.ac.jp](mailto:kimoto@shse.u-hyogo.ac.jp)

# ポスターのデザイン

- デザインの必要性
  - 単に見た目のためではなく、短時間で（発表者の説明がなくとも）、聴衆に、どのような構成・構造か、どこが重要かなどの理解を促すために必要
- 最低要件
  - 最上部にタイトル
  - 2行目に発表者（団体名、個人名）
  - 本文最小文字サイズ（A0サイズの場合）：30pt以上（36pt推奨）
- 参考となるHP
  - センス不要！ -伝わる研究ポスター作成術 - k-connex - 京都大学
  - 伝わるデザイン



# 注意点

## • 研究部門

- 文字数が多く、文字サイズが小さくなりがち。文字数は最低文字サイズを遵守。すべてを書くのではなく要点を書く。
- 聴衆が専門外の人の場合、何のための研究か、社会にどのように役立つものかを記載する。
- 簡単に説明できる専門用語は解説を記載しておく。ただし、分析手法等、解説が困難なものは不要。

## • 実践部門

- 写真が多くなりがち。課題や目的、内容はしっかり言語化し、わかりやすい文章で書く。
- 自分たちの取り組みが社会や地域の人々にどのような効果や可能性をもたらしたかを確認し、表現する。

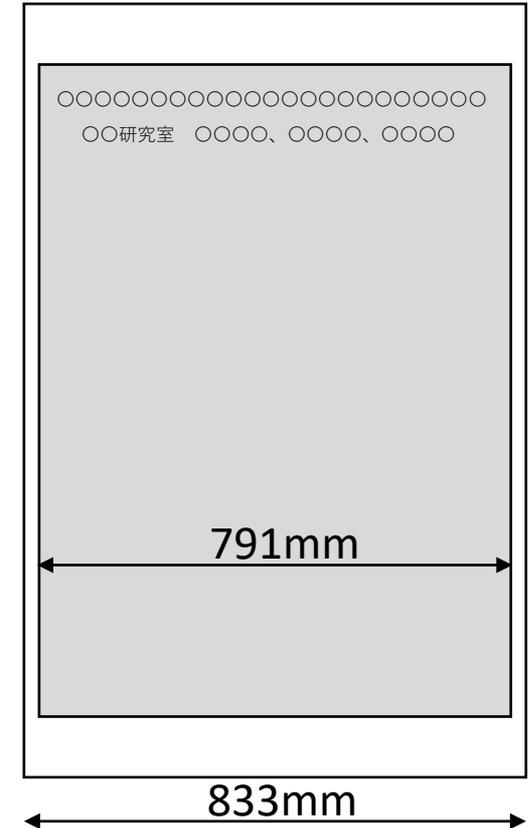
## • 画像関係

- **A0**サイズになるので、解像度が粗くなりすぎないように注意
- ネット画像を無断使用しない。著作権フリーの素材は可。
- 人物が大きく映る写真の場合、本人承諾をとる必要がある。

# ポスター印刷

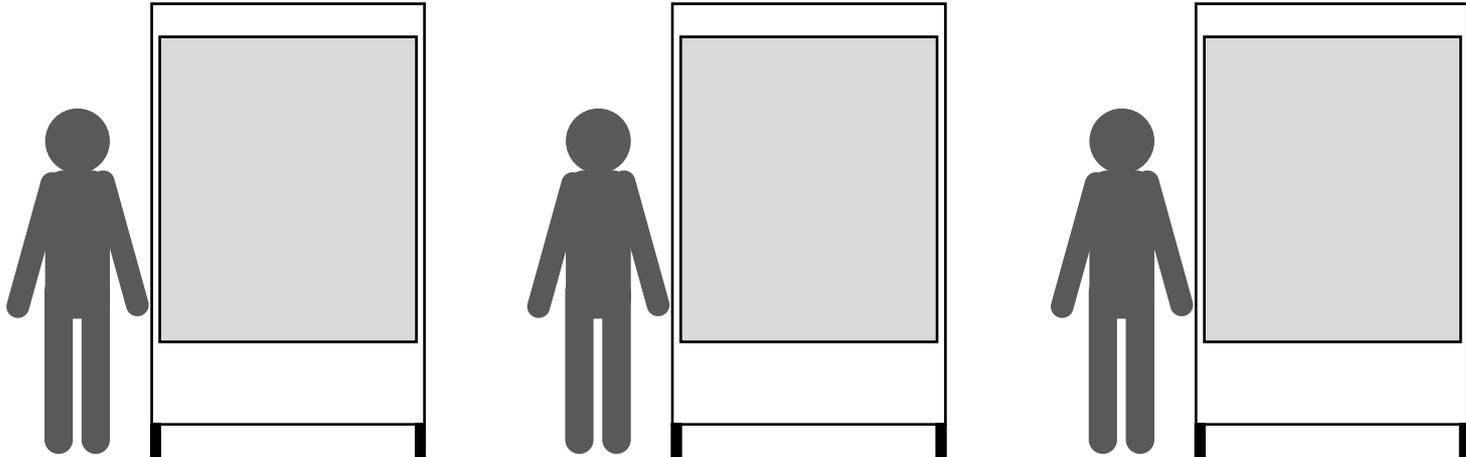
- **A棟2階プリンター室で行う。**
  - 特設サイトで使用手引書を**DL**閲覧可
  - プロパティで**A0**用紙設定
    - 841mm × 1189mm
  - **94%**横向きで印刷する。
  - 自動切断で横幅**791mm**となる。
  - **12月5日**までに印刷完了する。
  - 締切前は混雑が予想される。
- **管理室（プリンター室向い）**
  - トナー切れ、ロール紙関係等、トラブルが生じた場合、対応いただける。
  - 月・火・木（**8:45～17:00**）対応可
  - **12月勤務日12/4, 12/5（8:45～17:00）**

会場に設置されるボード



# ポスターの設置、発表、撤収

- 12月6日17:00～発表者（各1人以上）全員でボード設営
- 12月7日12:30までに所定の場所に設置。マグネット利用。
- 12月7日13:00～14:15の間は必ず発表者1名以上がポスターの横に立ち、来場者に説明する。積極的に声掛けする。質問があれば誠実に回答する。
- 撤収は口頭発表が終了する16:05以降に行う。



## 口頭発表

- 口頭発表は時間の制約上、6件程度に限定。
- 申し込み時に提出される400字概要で選定する。
- 本学部の分野の多様性を共有するという観点から選定（内容・レベルの良し悪しではない）
- **選定結果の通知は11月17日に行う。**
- 発表7分、質疑応答5分程度→選定後に正式に通知
- **委員会主催リハーサル（発表練習）を行うので必ず出席する（どうしても都合の悪い学生は要相談）。**
  - 11月29日（水）14:00～ A401

# 口頭発表の内容

- 内容
  - **研究部門**：背景、目的、方法、結果、考察、結論、参考文献等、それぞれの分野の学術論文の形式に沿って発表する。
  - **実践部門**：課題、取り組みの目的、内容、成果、社会へのインパクト等を発表する。
  - いずれも専門外の人に伝わるよう、わかりやすく作成する。
- スライド
  - 内容とともに、デザイン性を高める努力をする。
  - **A401**が会場なので、文字が小さくならないように留意。
- 口頭発表 & 質疑応答
  - 必ず時間内に終わらせる。
  - 台詞は十分に練り、棒読みにならなよう、わかりやすく。
  - 発声は、聞き取りやすい大きな声で。
  - 質問者への敬意をもって誠実に回答する。

# 口頭発表かポスター発表か

## •ポスター発表

- 研究や実践の初期段階、途中段階でも発表してよい。
- 興味をもってくれた人とじっくり話すことができる。
- 発表に対する様々な意見を得ることができる。
- 聴いてくれる人の総数は多くはない。

## •口頭発表

- 研究や実践の大部分は終わっていることが望ましい。
- 発表内容を多くの人に知ってもらえる。
- しっかりと準備する必要があるが、多くの人の前で発表したという達成感を得られる。
- 聴衆から得られる意見の数は少ない。

## 表彰（ゆりのき会賞）

- ポスター部門
  - 最優秀賞
  - 優秀賞（院生研究、学部研究、実践活動）
  - 奨励賞
- 口頭発表部門
  - 優秀賞
  - 聴衆賞（Googleformを使って聴衆が投票）

# ■ 申し込み（期間：11月1～10日）

- 特設サイトからGoogleFormsへ
- タイトル
- 発表者団体名（個人の場合は不要）
- 発表代表者
- 発表代表者メールアドレス
- 希望発表形式：口頭／ポスター
- 概要400字（口頭発表希望者はよく吟味して記述）
  - 研究部門：背景、目的、方法、結論（予想される結論）
  - 実践部門：課題、目的、取り組み内容、成果（予想される成果）
- 発表時の研究・実践の熟度
  - 序盤、中盤、終盤、完成
- アンケート



# 申し込み（Googleform）

- <https://forms.gle/DWtk7yWZopBsVNFY6>



環境人間学フォーラム特設サイトからも入れます。

# 環境人間学フォーラム特設サイト

• <https://shse-kinen.com>



- 申し込み
- 説明会資料
- 大型プリンターマニュアル
- ポスター発表提出先 等

# 問い合わせ

- 学術情報委員会
- 申し込み・全般：井関崇博
- [iseki@shse.u-hyogo.ac.jp](mailto:iseki@shse.u-hyogo.ac.jp)
- ポスター関係：木本幸憲
- [kimoto@shse.u-hyogo.ac.jp](mailto:kimoto@shse.u-hyogo.ac.jp)